

普通會計財務書類4表
(資金収支計算書)

資金収支計算書

〔自 平成23年4月 1日〕
〔至 平成24年3月31日〕

(単位:千円)

1 経常的収支の部	
人件費	14,670,043
物件費	13,034,127
社会保障給付	22,721,774
補助金等	3,282,095
支払利息	884,935
他会計等への事務費等充当財源繰出支	6,485,678
その他支出	878,025
支出合計	61,956,677
地方税	44,068,603
地方交付税	2,541,828
国県補助金等	17,844,030
使用料・手数料	2,205,800
分担金・負担金・寄附金	1,024,268
諸収入	1,368,575
地方債発行額	3,350,900
基金取崩額	22,989
その他収入	4,302,551
収入合計	76,729,544
経常的収支額	14,772,867

2 公共資産整備収支の部	
公共資産整備支出	11,997,167
公共資産整備補助金等支出	653,515
他会計等への建設費充当財源繰出支	68,621
支出合計	12,719,303
国県補助金等	2,684,731
地方債発行額	2,721,500
基金取崩額	21,384
その他収入	32,555
収入合計	5,460,170
公共資産整備収支額	△ 7,259,133

3 投資・財務的収支の部	
投資及び出資金	0
貸付金	350,000
基金積立額	1,501,367
定額運用基金への繰出支	0
他会計等への公債費充当財源繰出支	2,854,289
地方債償還額	4,007,307
長期未払金支払支	63,692
支出合計	8,776,655
国県補助金等	0
貸付金回収額	350,000
基金取崩額	0
地方債発行額	0
公共資産等売却収入	303,583
その他収入	16,235
収入合計	669,818
投資・財務的収支額	△ 8,106,837

翌年度繰上充用金増減額	0
当年度歳計現金増減額	△ 593,103
期首歳計現金残高	2,335,777
期末歳計現金残高	1,742,674

※1 一時借入金に関する情報

- ① 資金収支計算書には一時借入金の増減は含まれていません。
② 平成23年度における一時借入金の借入限度額は4,000,000千円です。
③ 支払利息のうち、一時借入金利子は0千円です。

※2 基礎的財政収支(プライマリーバランス)に関する情報

収入総額		82,859,532	千円
地方債発行額	△	6,072,400	
財政調整基金等取崩額	△	0	
支出総額	△	83,452,635	
地方債元利償還額		4,878,102	
財政調整基金等積立額		1,089,640	
基礎的財政収支		△ 697,761	千円

資金収支計算書(市民1人あたり)

〔 自 平成23年4月 1日
至 平成24年3月31日 〕

(単位:円)

1 経常的収支の部	
人件費	53,153
物件費	47,226
社会保障給付	82,327
補助金等	11,892
支払利息	3,206
他会計等への事務費等充当財源繰出支出	23,499
その他支出	3,181
支出合計	224,485
地方税	159,672
地方交付税	9,210
国県補助金等	64,653
使用料・手数料	7,992
分担金・負担金・寄附金	3,711
諸収入	4,959
地方債発行額	12,141
基金取崩額	83
その他収入	15,589
収入合計	278,011
経常的収支額	53,526

2 公共資産整備収支の部	
公共資産整備支出	43,469
公共資産整備補助金等支出	2,368
他会計等への建設費充当財源繰出支出	249
支出合計	46,085
国県補助金等	9,727
地方債発行額	9,861
基金取崩額	77
その他収入	118
収入合計	19,784
公共資産整備収支額	△ 26,302

3 投資・財務的収支の部	
投資及び出資金	0
貸付金	1,268
基金積立額	5,440
定額運用基金への繰出支出	0
他会計等への公債費充当財源繰出支出	10,342
地方債償還額	14,519
長期未払金支払支出	231
支出合計	31,800
国県補助金等	0
貸付金回収額	1,268
基金取崩額	0
地方債発行額	0
公共資産等売却収入	1,100
その他収入	59
収入合計	2,427
投資・財務的収支額	△ 29,373

翌年度繰上充用金増減額	0
当年度歳計現金増減額	△ 2,149
期首歳計現金残高	8,463
期末歳計現金残高	6,314

※平成24年3月末住民基本台帳人口 275,995人

資金収支計算書

■資金収支計算書とは…

資金収支計算書は、歳計現金（資金）の流れをみたもので、「経常的収支の部」「公共資産整備収支の部」「投資・財務的収支の部」の3つの区分に分けることにより、行政活動別の資金収支を表しています。

資金収支計算書は、民間企業等でのキャッシュフロー計算書にあたります。

《経常収支の部》

（経常的支出）

人件費や物件費、社会保障給付、補助金等、支払利息、他会計等への事務費等充当財源繰出など、日常の行政サービスを行うにあたって必要な費用で620億円となっています。

（経常的収入）

地方税や国府補助金、使用料・手数料、市債発行額、基金取崩額など日常の行政サービスを行うための支出を賄う収入で767億円となっています。

この結果、経常的収支額147億円が「公共資産整備収支の部」及び「投資・財務的収支の部」の財源不足を補てんしたことになります。

《公共資産整備収支の部》

（支出）

公共資産の整備のための支出や、他団体の資産形成に対しての補助金、他会計等への建設費充当財源繰出支出で127億円となっています。

（収入）

公共資産整備支出の財源となった国府補助金や、市債発行額、基金取崩額などで55億円となっています。

この結果、72億円のマイナスとなっていますが、この不足額は、経常的収支額により賄われたことになります。

《投資・財務的収支の部》

(支出)

貸付金や基金積立、他会計等への公債費充当財源繰出支出、市債償還額などで88億円となっています。

(歳入)

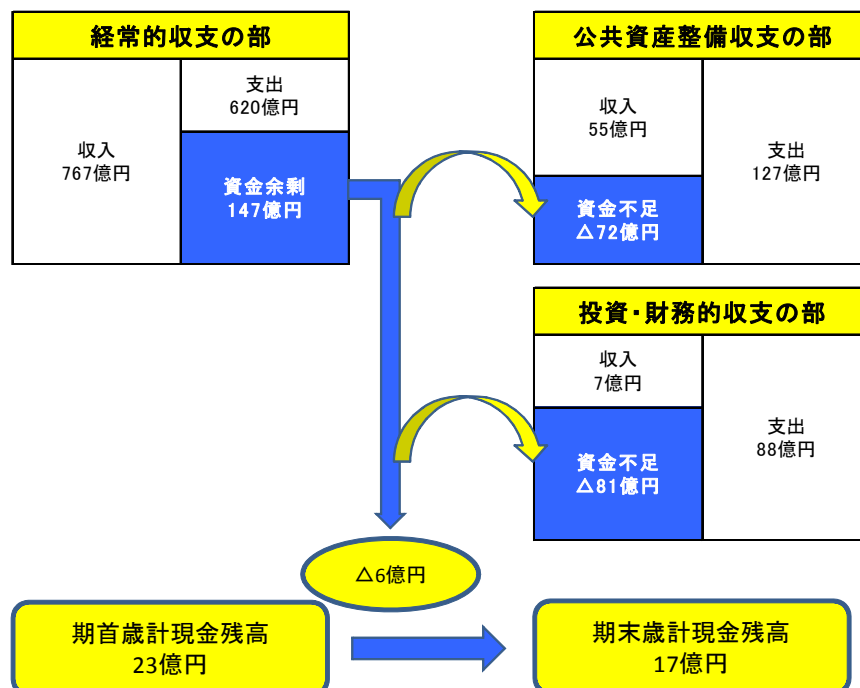
貸付金回収額や公共資産等売却収入などで7億円となっています。

この結果、81億円のマイナスとなっていますが、この不足額は、経常的収支額により賄われたこととなります。

《期末歳計現金残高》

当年度歳計現金増減額は6億円の減となり、期首歳計現金残高23億円から増加した結果、期末歳計現金残高は17億円となりました。

なお、この期末歳計現金残高17億円は貸借対照表の歳計現金と一致します。



■市民1人あたりの資金収支計算書

経常的収支の部	
支 出	22万4千円
収 入	27万8千円
経常的収支額	5万4千円
公共資産整備収支の部	
支 出	4万6千円
収 入	2万円
公共資産整備収支額	△2万6千円
投資・財務的収支の部	
支 出	3万2千円
収 入	2千円
投資・財務的収支額	△2万9千円

当年度歳計現金増減額	△2千円
期首歳計現金残高	8千円
期末歳計現金残高	6千円

※平成24年3月末住民基本台帳人口 275,995人

■基礎的財政収支（プライマリーバランス）に関する情報

基礎的財政収支（プライマリーバランス）とは、市債（借金）に頼らず税金などで賄われているかを表すものです。

算定の方法は、収入総額から市債発行額と財政調整基金取崩額を引いたものから、歳出総額から市債元利償還額と財政調整期金積立額を引いたものの差引額となります。

本市の基礎的財政収支額は7億円のマイナスとなりました。